



竜中だより

校訓

自律 協力 創造 勤勉

NO. 4



学校ホームページ

<http://ryuyo-j.city-iwata.ed.jp/>

令和6年7月11日発行



磐周大会等各種大会結果

磐周大会が終了しました。大会期間中、生徒たちは自分を試すために力の限り頑張りました。応援に駆けつけてくださった保護者のみなさま、ありがとうございました。

サッカー部、男子卓球部が磐周大会を制覇し、県大会へ駒を進めました。また、それ以外で県大会出場権を獲得したのは女子卓球部、男子ソフトテニス部、陸上競技部、水泳部です。県大会へ勝ち上がれなかった部活も、最後まで戦い抜くことができました。

様々な競技会場で、多くの竜洋中生徒が仲間の応援に駆けつけている姿が印象的でした。

【 サッカー部 】

予選トーナメント

竜洋中 2-0 袋井中

決勝トーナメント

竜洋中 4-0 磐田東中

竜洋中 2-1 豊岡中

竜洋中 3-0 城山中

竜洋中 3-2 南部中

～優勝～

県大会出場権獲得



【 男子卓球部 】

団体戦

●予選リーグ

竜洋中 3-0 豊田南中

竜洋中 3-1 袋井南中

決勝トーナメント

竜洋中 3-2 磐一中

竜洋中 3-1 福田中

竜洋中 3-1 周南中

～優勝！～

県大会出場権獲得

個人戦

5位：1名

8位：1名

県大会出場権獲得



【 女子卓球部 】

団体戦

●予選リーグ

竜洋中 3-1 南部中

竜洋中 3-0 神明中

決勝トーナメント

竜洋中 3-2 袋井南中

竜洋中 1-3 浅羽中

竜洋中 3-1 袋井中

～3位～

県大会出場権獲得

個人戦

4位：1名

10位：1名

県大会出場権獲得



【 男子ソフトテニス部 】

団体戦

●予選リーグ

竜洋中 2-1 袋井中

竜洋中 1-2 城山中

決勝トーナメント

竜洋中 1-2 豊岡中

～敗退～

個人戦

8位：1ペア

県大会出場権獲得

3回戦進出：1ペア

2回戦敗退：2ペア



【 陸上競技部 】

★通信陸上

男子砲丸投、男子円盤投

県大会出場権獲得



【 陸上競技部 】

★磐周大会

8位入賞 リレー 4種目

個人 11種目

【 女子ソフトテニス部 】

団体戦

●予選リーグ

竜洋中 0-3 福田中

竜洋中 1-2 周南中

竜洋中 2-1 豊田中

～敗退～

個人戦

ベスト16：1ペア

3回戦進出：1ペア

1回戦敗退：3ペア



【 水泳部 】★西部大会

男子1500m自由形

男子400m自由形

女子100m自由形

女子50m自由形県

県大会出場権獲得



【 野球部 】

●トーナメント

竜洋中 10-0 神明・袋井・袋井南

竜洋中 0-1 福田中

～敗退～



【 女子バスケ部 】

●予選リーグ

竜洋中 40-37 豊田南中

竜洋中 24-54 福田中

竜洋中 75-41 豊岡中

●決勝トーナメント1回戦

竜洋中 30-103 浅羽中

～ベスト8～



【 男子バスケ部 】

●予選リーグ

竜洋中 48-64 袋井中

竜洋中 43-85 周南中

竜洋中 95-15 森中

～敗退～



【 女子バレー部 】

●予選リーグ

竜洋中 2-0 豊田中

竜洋中 2-0 袋井南中

竜洋中 2-0 豊岡中

竜洋中 2-1 浅羽中

●準決勝

竜洋中 0-2 豊田南中

●3位決定戦

竜洋中 1-2 福田中

～4位～



校長の話（6月26日 会礼）

講話「自己有用感」

夏休みまで残り約1か月です。磐周大会も真っ盛りです。全部の会場を回れたわけではありませんが、竜洋中学校生徒と先生方のキラキラと輝く姿を見ることができました。

すでに敗退し3年生が引退する部もあります。どんな競技でもコンクールでもそうですが、全国で最後まで勝ち残るのは1チームだけです。他はその前のどこかで必ず終わる時が来ます。清々しく次へ（つまり1・2年生へ）バトンが繋げられるといいですね。

さて、今日は現在のステージ目標である「自己有用感を高めよう」というお話をします。生徒指導の能海先生から何度も話が出ていますので、皆さんもこの「自己有用感」という言葉はよく聞くとお思います。どんな意味が分かりますか？簡単にいうと「人の役に立った」「人から感謝された」「人から認められた」など自分が誰かの役に立っていると思う感覚で、“他者からの評価”を指します。第三者から自分の存在を価値として認められることで感じる事ができるものです。皆さんの身近でもっとわかりやすい例を挙げてみましょう。

教室を見回してみましよう。あちらこちらに皆さんが仲間を感謝する、仲間を認める…そんな言葉で溢れています。私が皆さんの教室を回って見つけたものは、

【翔竜祭の振り返りから】

- ・みんな元気に全員出席することができて嬉しかった。〈2年生〉
- ・私がなかなか上手にできなかつたとき、「どうしたの」「何ができないの？」「じゃあこうしてみようか」と優しく声をかけてくれるまで何度も教えてくれた。〈3年生〉
- ・練習の時、誰かの意見をすぐ否定せずみんなて話し合いながら効率的に練習した。〈3年生〉
- ・〇〇さんは大縄の時、引っかかった人がいても「どんまい」といつも声をかけていて頼もしかった。〈1年生〉

【部活動 下級生の応援メッセージより】

- ・先輩方の歓迎演奏にひかれて入部しました。私が尊敬する先輩たちと一緒に演奏できること、とても嬉しく思います・・・
- ・先輩の存在はとても大きく、一緒に練習できなくなるのはとてもさみしい。私も先輩のように尊敬される優しくかっこいい先輩になれるように頑張ります。
- ・先輩方、卒業制作がんばってください。先輩方の絵は私の憧れです。

全員分読んだわけではありませんので、もっと心に刺さるコメントがあったかもしれません。

これだけ周りの人の良さを認めることができる皆さんです。きっと普段の生活の何気ない場面でも、周りの人への感謝「ありがとう」「助かったよ」「嬉しかったよ」が自然と伝えられる集団であると思います。認め合い、支え合える集団は、誰から見てもその存在がきらきらと輝いて見えます。当然自己有用感も育つと思います。今後何十年先にも繋いでいきたい伝統です。

さて、校長（榛葉）は最近、嬉しかったことが3つあります。紹介します。一つ目は大会の応援に行った生徒の皆さんから「先生、応援してくださってありがとうございました。」とお礼を言われたことです。これには本当にびっくりしましたし、家に帰ってすぐ先生の嫁さんにも「こんな嬉しいことがあった」と伝えました。先生からも、「感謝」です。また、どの会場にもたくさんさんの「保護者」や「先生方」が応援に駆けつけてくれたことも嬉しかったです。お家の人も先生方も皆さんの必死な様子を直（じか）に見たいのです。家族や先生方に感謝です。

二つ目ですが、先日民生委員、主任児童委員という地域の方とお話をしました。皆さんの授業を見ていったと思います。その中でこんな話が出ました。「みんな落ち着いて授業を受けているね」、更に「竜洋中は中も外もきれいだね。お掃除、みんな一生懸命やっているんだね」というお話も出ました。地域の方に皆さんのことを褒められるのは本当にうれしいですね。

最後に本当に私的なことですが、榛葉家に「孫」が誕生しました。もうじき2か月となります。自分の子供の時にも「感激」しましたが、今回は感激の最上級でした。息子夫婦には「本当にありがとう」と伝えたいです。そして健康で「人の役に立つような」人物に成長してほしいなと願っています。

皆さん、あなた方一人一人の存在（普段の元気な挨拶や中学生らしい振る舞い、笑顔、エネルギー・周りに気をつかえる優しさ）に家族や地域の皆さん、仲間、そして先生方は毎日元気とパワーをもらっています。残り1か月の1学期、皆さんの周りで「ほんのちょっとしたありがとう」をたくさん見つけてみるといういいかなと思います。